

当時の曾屋水道の水源入口

曾屋水道の遺構

～秦野市が誇る貴重な財産～

曾屋水道の創設以前は、住民のほとんどが用水路に流れる水を生活用水として使用していたため、伝染病（コレラ）が流行しました。

コレラの被害は甚大で、当時の曾屋村の人口の3%にあたる81人が発病し、25人もの犠牲者を出しました。このことに危機感を覚えた住民が主体となり、「安全でおいしい水」を給水をできる環境を整備することを決意し、曾屋水道が創設されました。



当時の曾屋水道の源泉入口付近